

まじゅん

編集責任者 西銘 隆 (田崎病院)
編集者 石川 淳 (あらた舎)
比嘉 哲也 (オリーブ山病院)

沖縄県精神保健福祉士協会 89号

E-Mail oki.psw@gmail.com

2014年11月定例会報告

日時：平成26年11月15日(土) 10時～17時15分
11月16日(日) 9時30分～12時15分
場所：沖縄大学 本館 1F教室
テーマ：2014年度 基幹研修Ⅰ
参加数：23名

【定例会の概要】

- 1日目 「日本精神保健福祉協会の役割と課題」講師 西銘 隆 (田崎病院)
「沖縄県における精神保健福祉士の歩み」講師 名城 健二 (沖縄大学)
「精神保健福祉士の専門性Ⅰ」講師 知念 朝子 (天久台病院)
- 2日目 「精神保健福祉士の実践論Ⅰ」
～様々な現場での精神保健福祉士の活躍～
シンポジスト 大村知嗣 (医療法人 卯の会 新垣病院)
外間章浩 (株式会社 NSP)
城間直也 (株式会社 BowL)
座長 唐木増久 (那覇保護観察所)

日本精神福祉士協会の役割と課題、沖縄県における精神保健福祉士の歩み、精神保健福祉士の専門性を講義形式で学び、地域支援、医療、教育の各分野で活躍する精神保健福祉士にシンポジウム形式での実践活動の発表を聞くことができた他、日ごろの業務でそれぞれが抱えている不安、焦り、悩みを共有するグループワークなどを通し、今後のソーシャルワーカーとしてのあり方を確認した。



【感想①】 報告者：崎山千春（玉木病院 相談室）

私が、精神保健福祉士として従事して約1年が経ちました。ご縁があり現在の職場で働かせて頂き、相談室業務に従事しています。私の精神保健福祉士としてのスタートは遅く、約10年民間企業で働き、通信課程で精神保健福祉士の専門学校に通い、平成25年3月に資格を取得したばかりです。これまでとは全く違う新しい環境で、まずは業務を覚える事に必至でただひたすら走ってきたような気がします。深呼吸して立ち止まって考えるという余裕もなく日々が過ぎていたように感じます。そんな中、今回の基幹研修のお話があり、参加させていただきました。

基幹研修では、精神保健福祉士としての専門性や実践論、様々な現場で活躍している精神保健福祉士の方々の話を聞くことが出来ました。立ち止まり考えること、絶えず疑問を持つこと、自分が出来る支援を考えることの大切さ、悩んだりもやもやしたりしている時には一人で抱え込まず話す事、そうすることで患者さんの援助にも繋げていける事等、本当に沢山の事を学ぶことが出来ました。自分がなぜ精神保健福祉士を目指したのかという初心、原点にかえることも出来ました。

今回の研修で学んだことを持ち帰り、早速明日からの日々の業務に活かしていきたいと思います。そして今後勉強会や研修会等に積極的に参加し、自己研鑽に励んでいきたいと強く思いました。

【感想②】 報告者：備瀬理恵（新垣病院 デイケア①）

平成26年11月15日より2日間にかけて、23名の受講者の方々とともに沖縄大学にて基幹研修を受けさせていただきました。新垣病院に勤めて3年目の備瀬といいます。

研修内容1日目は日本精神保健福祉士協会の歴史と沖縄県の精神保健福祉士の歩み、専門性などの講義と、受講者同士でのグループワークがあり、2日目は様々な分野で活躍する精神保健福祉士の方からシンポジウムと満載でした。この研修には自分自身で希望して参加しましたが、正直な話、研修前は束の間の休息がつぶれたなど少し憂鬱でした。自分自身に気合を入れて挑みましたが、終わってみるとあっという間の充実した2日間でした。

受講者達とのグループワークを通して、共通の悩みや葛藤を持ちながら仕事をしていることを知り、安心でき仕事に対する意欲が湧きました。また毎日の仕事や業務に流されていた私を立ち止まらせ、何のために、誰のために、何をするために働いているのかを突き詰めて考える機会になることができました。

【感想③】 報告者：長嶺将大（サマリヤ人病院）

初めての研修であること、特にプログラムの一つに「グループワーク」という言葉を目にして、とても緊張し身構えていましたが、講師の方々もとても丁寧に教えて下さり、特に沖縄の精神保健福祉に関しては知らないことだらけであったので、今の資格者としての立ち位置は沖縄の先輩方が必死に作り上げてきたものなのだと実感することが出来ました。一番心配していたグループワークでは、普段の業務に追われる中自身が感じていたこと、悩み、不安を話すことができ、また同じ不安を持っている方や経験したことのある方がいて、これから業務に戻っていく中で勇気づけられるアドバイスを頂くことが出来ました。懇親会では様々な方とお話できる機会があり、とても楽しく研修を終えることが出来ました。

講師の方々を始め今回企画運営をしてくださった委員会の皆様、ありがとうございました。



【感想④】 報告者：仲村くらら（沖縄中央病院 精神科デイケア「マジューン」）

1日目は「日本精神保健福祉士協会の役割と課題」、「精神保健福祉士の専門性1」の講義を受講した。演習Ⅰではランダムに振り分けられた受講者同士で「自己の振り返り」のグループワークに参加した。また、県独自の企画で沖縄大学の名城健二准教授の「沖縄県における精神保健福祉士の歩み」という講義も執り行われた。2日目は「精神保健福祉士の実践論1～様々な現場での精神保健福祉士の活躍～」の講義を受講。最後に演習Ⅱ「今後に向けて」ではこれまでのワーク。講義を通してこれから自信が目指したいPSW像や意識して取り組みたいことなどを意見交換した。

今回の研修を通して、自信がPSWとして日頃どれだけ職場や当事者にPSWとしての責務を果たしているかということ振り返る事ができた貴重な研修であった。グループワークでは日頃中々打ち明けられない自信の悩みや不安を口にする事ができ、また他の受講生の方々からも働く分野や職場が違っても同様にPSWとして働く上での悩みを共有する事が出来た。また、PSWの専門性や沖縄県でPSWとしての道を切り開いた先人達の歩みも知る事ができ、「まだまだPSWとしての可能性を模索していかなければ」という研鑽の気持ちを固める事が出来た。今後は時間の合間では無く、自ら時間を作り出しPSWとしての専門性を高めていきたい。



【感想⑤】 報告者：吉松雄二（医療法人卯の会 自立訓練事業所ラポール）

去る平成26年11月15日(土)～16日(日)の両日、沖縄大学本館1階教室にて(一社)沖縄県精神保健福祉士協会主催「2014年度基幹研修Ⅰ」が開催され、総勢23名の仲間が受講した。

精神保健福祉士の業務に就き速10年が過ぎた。そこで、初心に立ち返るとともに、日頃の業務を振り返る機会にしたいと思い今回の研修に参加した。

プログラム内容については、まず「日本精神保健福祉士協会の役割と課題」についての講義があり、精神保健福祉をめぐる歴史的な背景を押さえながら、本協会が果たしてきた役割や今後の課題について説明があり、次に県の独自企画として「沖縄県における精神保健福祉士の歩み」の講義があり、社会的な認知の低さのなか諸先輩方が苦勞して現在の地位を築いてきたことなどを学んだ。また、講義3では「精神保健福祉士の価値・専門性」について現場でのエピソードを盛り込みながら分かりやすい説明があった。その後、「自己の振り返り」をテーマにグループワークがあり、各現場での思い(認知症患者のニーズの把握の難しさ、支援者が疲れていたなら良質な支援ができない、悩み(もやもや)を吐き出す事の大切さなど)を出し合った。

2日目は「精神保健福祉の実践論」と題し、各分野(病院・就労支援事業所・自立訓練事業所)で活躍している仲間によるシンポジウムが行われ、精神保健福祉士の業務の多様性を実感する事が出来た。その後は2回目のグループワークが行われ、全プログラムを終えての感想、学んだ事、今後活かしていきたいことなどを各自で述べ終了となった。

今後の研修を受講する事により多くの学びを得る事ができたと思う。字数の制約上全て詳細に記載

する事は出来ないが、その中でも特に印象に残った事は①対価に見合うサービスの提供が出来るよう常にスキルアップが必要であるということ②支援の方向性等で悩んだ時は原点に戻り、なぜ自分はPSWになろうと思ったかを振り返ってみること③本人の出来る事、得意な事(ストレングス)を常に考え、寄り添う姿勢を忘れずに関わっていくこと④常に精神保健福祉士としての誇りを持ち仕事に取り組む姿勢が大切である事⑤「自己決定」の姿勢を忘れない、支援の先に本人にとっての希望が無いと辛いこと。以上の⑤点である。いずれも基本的なことではあるが、非常に大切なことであり再認識することが出来た。

今回、このような研修の機会を与えて頂いた沖縄県精神保健福祉士協会の研修委員を始めとした関係者の方々に感謝するとともに、今後も専門職としてのアイデンティティを保持しながら、現状に満足する事無く積極的に自己研鑽に努めていきたいと思う。



【事務局だより】

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

昨年は協会運営に御協力いただきありがとうございました。

平成26年度も残りわずかになりましたが、沖縄県から委託を受けた、「地域移行のための多職種合同研修会」、「平成26年度ゲートキーパー養成研修」、「平成26年度いのちを守るフリーダイヤル相談事業」が控えており、準備に追われる日々が続いています。

また、1月17日(土)に1月の定例会、2月28日(土)には第3回沖縄県ソーシャルワーカー学会が開催予定となっていますので参加よろしく申し上げます。

今年も忙しい1年になると思いますが、会員のみなさまには引き続き協会運営の御協力をお願いします。

～会員の皆様へ 会費納入のお願い～

☆ 会費口座引き落としの手続きはお済みでしょうか？まだの方はお早めに手続きをお願いします。

★お便り大募集！！★

会員の皆さまからの情報・報告・投稿・作品(詩やエッセイなど何でも!)をお待ちしています。

また、当協会へのご意見・ご要望などお寄せ下さい。送り先はPSW協会メールへお願いします。